

～提案・要望事項～

- **速やかに浸水対策を実施し、市民生活の安全や安心を確保するため、浸水対策の施設整備に対する財源を十分に確保すること。**

【現状と課題】

- 本市の下水道による浸水対策は、計画区域全域において一律の整備基準にて事業を進めることを基本とし、過去の浸水被害が大きい地区から優先的に整備している。
- 浸水対策施設の整備は膨大な事業費を要することから、整備が完了していない地区がある。
- 浸水被害の最小化を図るため、計画降雨に対する施設整備を着実に実施する必要がある。
- 近年、降雨が局地化・集中化・激甚化し、整備が完了した地区においても浸水被害が発生しており、今後も住民生活・社会経済活動に深刻な影響を及ぼす可能性がある。
- 近年の局地的な集中豪雨の発生状況を踏まえ、ソフト対策及び既存施設の改築を含めた施設の増強を図っていくことが喫緊の課題となっている。

【本市での取り組み】

現 状：浸水実績や浸水シミュレーションから**重点対策地区**を堺市下水道ビジョン（中期計画）に位置付け、対策工事を実施

重点事業：古川第2下水ポンプ場建設工事（継続中）
菅池幹線下水管布設工事（継続中）

◆浸水対策事業費及び国庫補助額

	平成29年度（予定含む）	平成30年度（予定）	平成31年度（見込額）
下水道事業費	10,752,750千円	11,986,460千円	13,009,000千円
浸水対策事業費	7,360,020千円	3,746,700千円	5,326,000千円
下水道事業 国庫補助額（要望額）	4,049,000千円 (4,049,000千円)	3,852,300千円 (3,852,300千円)	3,981,000千円
浸水対策事業 国庫補助額	3,255,359千円	1,188,900千円	1,395,000千円



財源の確保により浸水対策を推進することで、災害に強いまちを実現
【浸水地区の解消】

【本件に関する連絡先】

上下水道局 事業計画担当課長 幸田 省吾 (TEL:072-250-9121)